

2017 年度後期 学生授業評価アンケート集計結果に対するコメント

—社会イノベーション研究科—

社会イノベーション研究科長 古川 良治

大学院の授業については、14 項目全てにおいて 5 点満点で平均が 4.50 以上となっており、概ね良好な評価が得られていた。最も評価が高かったのは「授業への教員の熱意を感じた」(4.97)であり、「教員は授業時間を有効に利用した」「教員の話し方は明瞭であった」「教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心掛けた」「教員は発言・議論等授業参加を積極的に促した」「この分野の関心と学力が得られた」「総合的にこの授業を評価できる」で 4.90 以上となっていた。

また、「総合的にこの授業を評価できる」と他の項目の相関係数については、「教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心掛けた」(0.74)、「この分野の関心と学力が得られた」(0.69)、「シラバスと内容が一致していた」(0.65)が比較的高い値となっていた。ここに列挙した項目は授業の総合的評価に影響を与えるものであり、こういった点に留意しつつ授業を行うことにより、一層充実した授業を行っていくことが望まれる。